

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	億円
		通常砂防事業 おおつら 大浦川	揖保郡御津町 むろつ 室津		(内用地補償費)
所在地				着工予定年度	完成予定年度
揖保郡 御津町 室津				H15年度	H18年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流であり、土砂災害の危険性が高いため、堰堤工を設置することにより人命・財産及び国道 250号を保全する。			・砂防堰堤工 1基 (H = 9.0m, L = 50.0m)		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心		・大浦川は土石流危険渓流である。 ・流域の荒廃が広範囲に及んでいるが、砂防設備は未設置である。 ・保全対象：人家 = 12戸、公共施設 = 国道 250号、町道 ・国道 250号が被災すると迂回路が無く、地域交通に大きく支障をきたす。			
地域の活性化		・砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、下流域の大浦海水浴場が保全されることにより観光支援に資する。			
快適性・ゆとり		・堰堤工設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより安全で快適な生活空間を提供する。			
その他		・地元からの事業化への要望が強い。			
(2)有効性・効率性 有効性		・人命、財産(人家 12戸)及び国道 250号が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。			
効率性		・地元からの要望が強く、町等の協力体制があるので円滑な事業執行が可能である。			
(3)環境適合性		・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 ・下流の人家及び海水浴場からの景観に考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。			
(4)優先性		・土石流の想定被害区域には人家 12戸のほか国道 250号、大浦海水浴場がある。 ・流域の荒廃が著しく進んでおり土砂災害の危険性は高い。 ・このため室津地区の人命・財産の保全のために早急な対策が必要である。			